

■兼松房治郎 実業家。転変の末、(兼松商店)興し、日豪貿易とくに羊毛貿易の開拓者となった。

かねまつふさじろう

阿部正弘首座1845=

大坂の江の子島(大阪市西区)で、尾張の家を勘当されて量表商となった広間弥兵衛の長男に生まれる。直後に、父が量表買占めの嫌疑で出奔したため、母八重の手で伏見の実家で育てられる。

・・・ 1848= 3歳 : 母が魚商と再婚。

ペリー来航・1853= 8歳 :

開国開港・・・ 1854= 9歳 :

苦勞する母を見るうち、立身出世を志すようになり、

松下村塾・・・ 1856=11歳 : とりあえず、近くの醬油・味噌販売店に丁稚奉公に出されるが、

蕃書調所・・・ 1857=12歳 : 前途見込み無いと、大坂の縁戚の店に行き、かならず、京都の乾物問屋に住み込む。継父が死去。

自殺まで考えるほど、酷使され、

安政の大獄・1859=14歳 : 京都の蝸燭屋に奉公するも、見込み無く、

桜田門外変・1860=15歳 : 大坂の米屋へと移る。病氣だった母が死去。

長崎奉行岡部駿河守が大坂に宿泊した際、その用人大野氏の給仕をして、江戸に出ることを勧められ、

生麦事件・・・ 1862=17歳 : 無断で飛び出し、江戸に赴く。転変経て、大野氏の門番手伝いするうち、岡部駿河守の目に留まって、奥付

中小姓に挙げられ、ついに、目標だった武士への道が開け、勤勉忠実ぶりから、

8月18日政変 1863=18歳 : 御用部屋書き役に抜擢され、講武所で銃術の訓練まで受け、さらに、株を買って足軽から歩兵となるに至る

もしやと思い、名古屋の親戚兼松氏を訪ねて、健在だった実父と再会。当主に愛でられ継嗣とされる。

禁門の変・・・ 1864=19歳 : 天狗党の乱が起こると、幕府から小隊司令官を命じられて出陣、平定に貢献して帰陣。フランス兵駐屯司令

長官のもとにつき、さらに昇進するも、武家生活に満足できず、商業こそわが道と思うに至る。

薩摩藩士密航1865=20歳 : 病理由に職を辞して、帰郷。

薩長同盟・・・ 1866=21歳 : 長州征伐起こると、この時とばかりと、船を借りて清酒販売に向かうが、幕府の間諜と疑われて留置され、

將軍死去で終戦となり、ようやく解放。大坂茨木の伯母の家に寄寓し、近所の児童に習字を教授。

大政奉還・・・ 1867=22歳 : 横浜で金巾・綿糸商売を始めるも、故あって帰郷、ついで神戸で石炭の仲次商して儲けるも、

明治維新・・・ 1868=23歳 : 倒産。新潟で砂糖・綿・鉄などの商売を試み、ようやく巨利を博し、東京で汁粉屋開いて繁盛するも、

戊辰戦争終・・・ 1869=24歳 : 再び横浜で蚕卵紙商売に着手したが、

初の日刊新聞1870=25歳 : 普仏戦争のため大打撃をうけ、無一文に。一念発起し、アメリカ人宣教師バラーフについて英語を学び、

薩藩置県・・・ 1871=26歳 : 外国語学校が設立されると、入学し、伊藤弥次郎(のち初代農商務省鉱山局長)の下で、さらに修業。

学問のすすめ1872=27歳 : 修了して、大阪に戻る。所用で乗船の折、偶然伊藤と再会、

明治6年政変 1873=28歳 : 伊藤その紹介で、三井組に入る。過去の経歴から、様子見で、昇級抑えられるも、刻苦勉勵し、

佐賀の乱・・・ 1874=29歳 : 実父が死去。

三つの内乱 1876=31歳 : 役員に抜擢され、三井銀行大阪分店取締になって、再建に手腕発揮、

西南戦争・・・ 1877=32歳 : 蘭学者児玉順藏の孫娘さき子と結婚。三井家代理として、米商会所の肝煎にまでなる。

大久保暗殺・・・ 1878=33歳 : 五代友厚らに従って、大阪商工会議所を設立したりするが、

明治14年政変1881=36歳 : 持病の喘息と膝関節リウマチが悪化したことから、退職。大阪で薪炭業を開くも廃業し、

岩倉具視没・・・ 1883=38歳 : 広瀬幸平らと、有限責任大阪商船会社(資本金120万円)を創立、取締役運輸課主任に就任。

報酬も得ずに奮闘し、その礎を確立すると、

帝国大学始・・・ 1886=41歳 : 退任し、

国民之友始・・・ 1887=42歳 : 経営難で休刊していた{大阪日報}を買収、主幹となる一方、綿糸紡績業について将来を期待しうると考えた羊毛工業の原料調査のため、オーストラリアに渡り、日豪貿易の将来を予見。

初の対等条約1888=43歳 : {大阪毎日新聞}と改題発行して、再建に努力。同じ頃、帰国の途中、香港在住の北村寅之助と相識り、

帝国憲法発布1889=44歳 : {大阪毎日新聞}を譲って、神戸市栄町に、\*日豪貿易兼松房治郎商店の看板をかかげる。

帝国議会始・・・ 1890=45歳 : 再び、オーストラリアに渡り、シドニー支店を設置し、帰国、

大本教・・・ 1892=46歳 : 再び、オーストラリアに渡り、移転拡大するが、

郡司千島探検1893=47歳 : オーストラリア経済恐慌で、塗炭の苦しみのなか、現地でも奮闘、

日清戦争始・・・ 1894=49歳 : ようやく沈静化すると、後事を北村に託して、帰国。

諸方面に働きかけ、

白馬会・・・ 1896=51歳 : \*日本郵船が、日豪航路を開始、羊毛輸入関税も撤廃され、発展が始まり、

オーストラリアから羊毛・牛脂・牛皮などを輸入、日本からは陶器・漆器・竹器などを輸出。

Bushidou・・・ 1899=54歳 :

ビノ/国産化・・・ 1900=55歳 : \*肥料輸入関税の撤廃も実現、有志と貿易調査会を組織。日清人間の融和を図るべく、対清貿易を始めるが、

田中正造直訴1901=56歳 : 日本経済の恐慌で、兼松商店本体が窮地に陥り、自らも仮住まいとなって、

日露戦争始・・・ 1904=59歳 : 失敗に終わる。

日露戦争終・・・ 1905=60歳 : ようやく、自邸に復帰。この間、神戸港築港運動に率先身を挺して実現に努めるものの、

満鉄発足・・・ 1906=61歳 : \*大病に罹り、「従業員に持株を分与する協定書」を作成。以後、薬餌に親しみ、病臥勝ちとなり、

アヲキ創刊・・・ 1908=63歳 : 勲六等。

伊藤博文暗殺1909=64歳 : 新店舗に着工し、

大逆事件判決1911=66歳 : 日豪館が竣工。

明治天皇没・・・ 1912=67歳 : 従業員にも持株を分与する匿名組合にまで、その内容を充実させたが、

大正政変・・・ 1913=68歳 : 肺気腫に気管支炎を加え、腎臓炎で尿毒症を起こすなどして、没した。